

芝山町人口ビジョン（改訂版）

及び

第2次芝山町まち・ひと・しごと創生

総合戦略

2020年3月

芝山町

## ごあいさつ

芝山町では、国の「まち・ひと・しごと創生法」の施行及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあわせ、2016年3月に、町の将来人口予測とその課題に対する具体的な施策を示した「芝山町人口ビジョン及び芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1次）」を策定いたしました。

この計画では、目指すべき将来像を「『生涯活躍』を知感、体感できるまちづくり」として、「安定した雇用を創出する」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る」の4つの基本目標を掲げ、町の人口減少に歯止めをかけるべく、町民のみなさんをはじめ様々な団体、事業者にご協力を仰ぎながら各種事業に取り組んでまいりました。

4年が経過した今、人口減少の抑止は依然として大変難しい課題ですが、一方で、成田空港の更なる機能強化や圏央道整備など、町を取り巻く環境は大きな変化を遂げようとしています。町としてもこうした環境の変化を積極的に取り込み、これまでの取組をさらにもう一步先へ進めていくために、「人口ビジョン」を改訂するとともに、第2次となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することといたしました。

策定の過程では、町民のみなさんからのアンケートやパブリックコメント、「芝山町総合戦略推進会議」での意見交換など、幅広いご意見・ご協力をいただきました。計画の推進に当たっても、引き続きみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

このすばらしい芝山町を次の世代に託すため、ともに進みましょう。

2020年3月

芝山町長 **相川 勝重**

# 目 次

## 芝山町人口ビジョン（改訂版）

<b>1 人口ビジョンの位置づけ</b> .....	<b>1</b>
1. 人口ビジョンの位置づけ .....	1
2. 対象期間 .....	1
3. 人口の現状分析と人口の将来展望 .....	1
<b>2 人口の現状分析</b> .....	<b>2</b>
1. 人口動向 .....	2
2. 将来人口の推計 .....	5
<b>3 人口の将来展望</b> .....	<b>6</b>
1. 町民意識 .....	6
2. 目指すべき将来の方向 .....	9
3. 人口の将来展望 .....	10

## 第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

<b>1 計画の前提</b> .....	<b>11</b>
1. まち・ひと・しごと創生総合戦略とは .....	11
2. 第1次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の状況 .....	11
3. 国の第2期総合戦略における新たな視点 .....	13
<b>2 第2次総合戦略の概要</b> .....	<b>14</b>
1. 策定にあたっての基本姿勢 .....	14
2. 計画期間 .....	14
3. 芝山町総合計画等との関係 .....	14
<b>3 第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略</b> .....	<b>15</b>
1. 第2次総合戦略の基本方針 .....	15
2. 各施策と数値目標・重要業績評価指標（KPI） .....	16
基本目標Ⅰ 安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する .....	16
基本目標Ⅱ 新しいひとの流れをつくる .....	21
基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる .....	29
基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る .....	32
<b>4 計画の推進に向けて</b> .....	<b>37</b>
1. 推進体制 .....	37
2. 国、県、近隣市町との連携 .....	37
3. 効果検証のしくみ（PDCA サイクル） .....	37

国では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を「第1期」、「第2期」と称していますが、芝山町版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「第1次」、「第2次」と称しています。

芝山町人口ビジョン

(改訂版)

# 1 人口ビジョンの位置づけ

## 1. 人口ビジョンの位置づけ

---

芝山町人口ビジョンは、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、芝山町の人口動向を分析し将来人口を見通した上で、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を展開するための基礎的な資料となるものです。

2016年に策定した人口ビジョンでは、本町における人口の現状を詳細に分析し、人口の動向に関する認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示しました。

本ビジョンでは、第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあわせて、最新のデータによる時点修正を行うとともに、社会情勢の変化を加味した新たな人口の将来展望を提示するものとして位置づけます。

## 2. 対象期間

---

国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と略す）の推計期間であり、国の長期ビジョンにおける対象期間でもある2060年とします。

## 3. 人口の現状分析と人口の将来展望

---

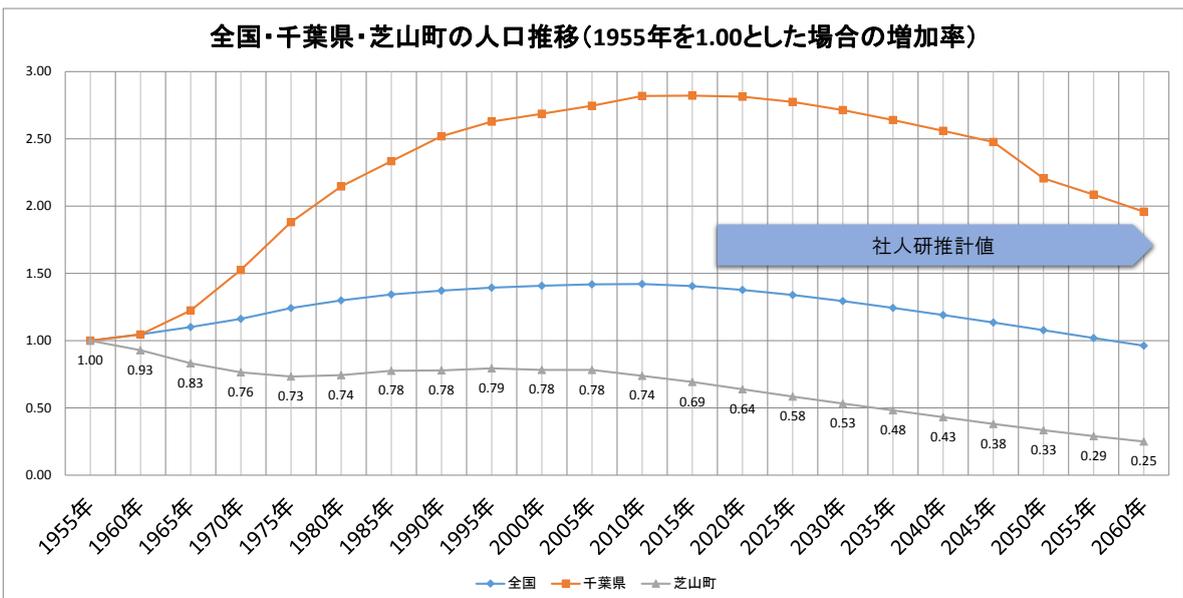
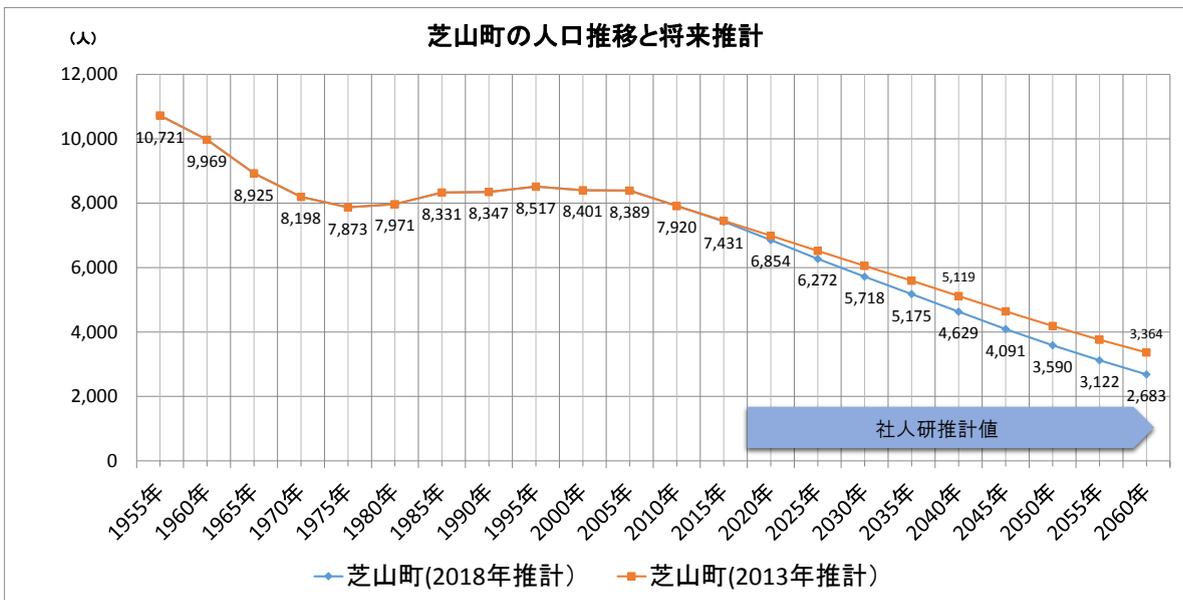
新たな人口ビジョンの策定にあたっては、2016年策定時から現在（2019年）までの人口の現状や社人研の示す新たな推計を検証するとともに、町民意識調査結果や今後の社会情勢の変化を加味しながら、目指すべき将来の方向性を提示し、将来人口を展望します。

## 2 人口の現状分析

### 1. 人口動向

#### (1) 総人口

- 芝山町の総人口は 1995 年をピークに減少傾向にあり、2015 年の国勢調査では 7,431 人となっています。
- 将来推計をみると、2013 年 3 月推計を元にした第 1 次の人口ビジョンと比較して、2040 年は 5,119 人⇒4,629 人、2060 年は 3,364 人⇒2,683 人と、一層人口減少が進む予測となっています。



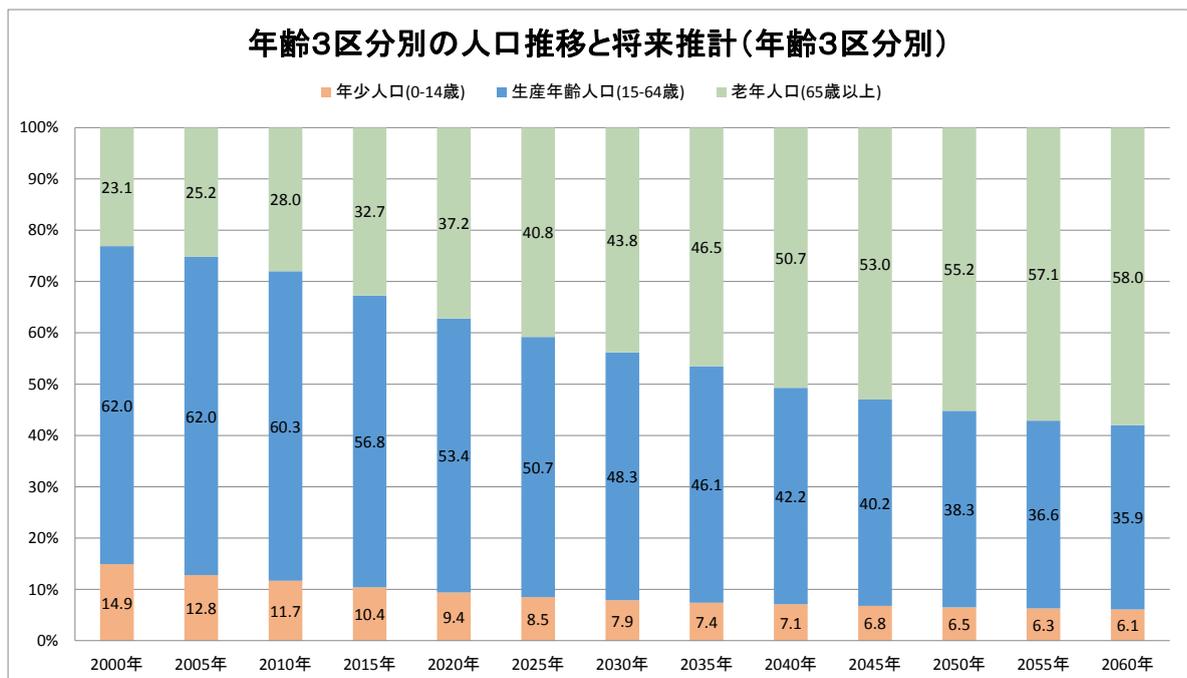
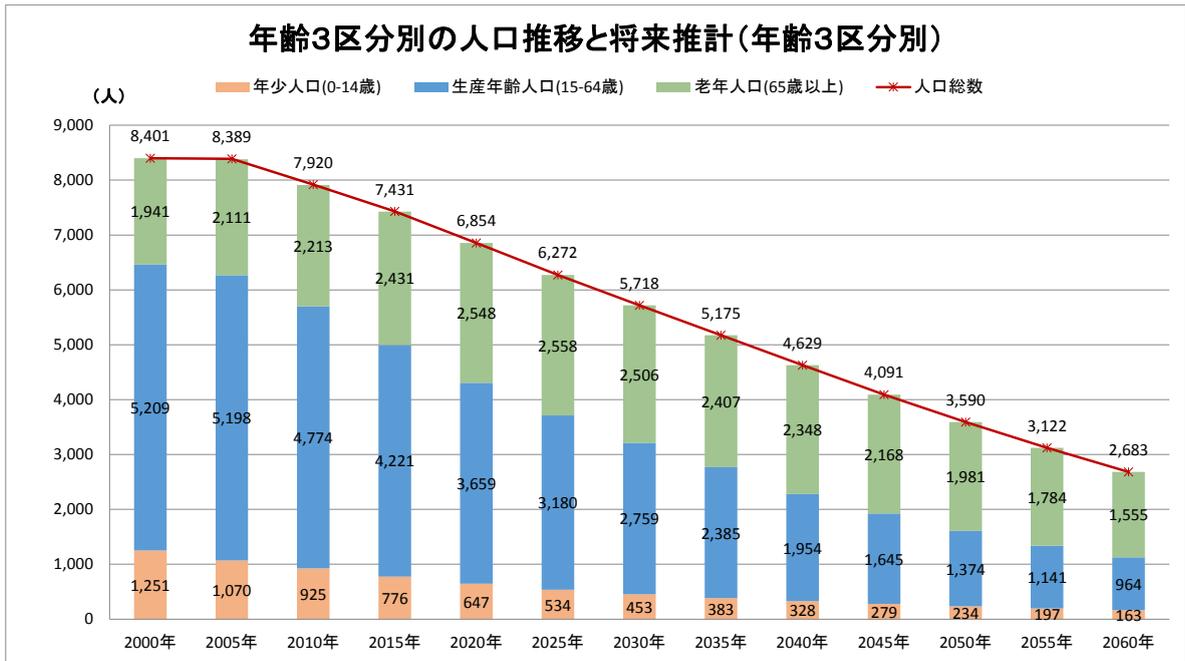
出典：国勢調査結果（総務省統計局）

注）2020 年以降は、国立社会保障・人口問題研究所（2018 年推計）の推計値。

## (2) 年齢3区分人口

○年齢3区分人口においては、少子・高齢化の進行と生産年齢人口の減少が進んでおり、2000年から2015年にかけて、年少人口が475人減少する一方、老年人口は490人増加し、生産年齢人口は988人減少しています。

○将来推計をみると、高齢化率は2040年に50.7%、2060年には58.0%に達すると予想されます。第1次の人口ビジョンでは2050年までは生産年齢比率が高齢化率を上回る予測でしたが、新しい推計では2035年には逆転する見込となっています。

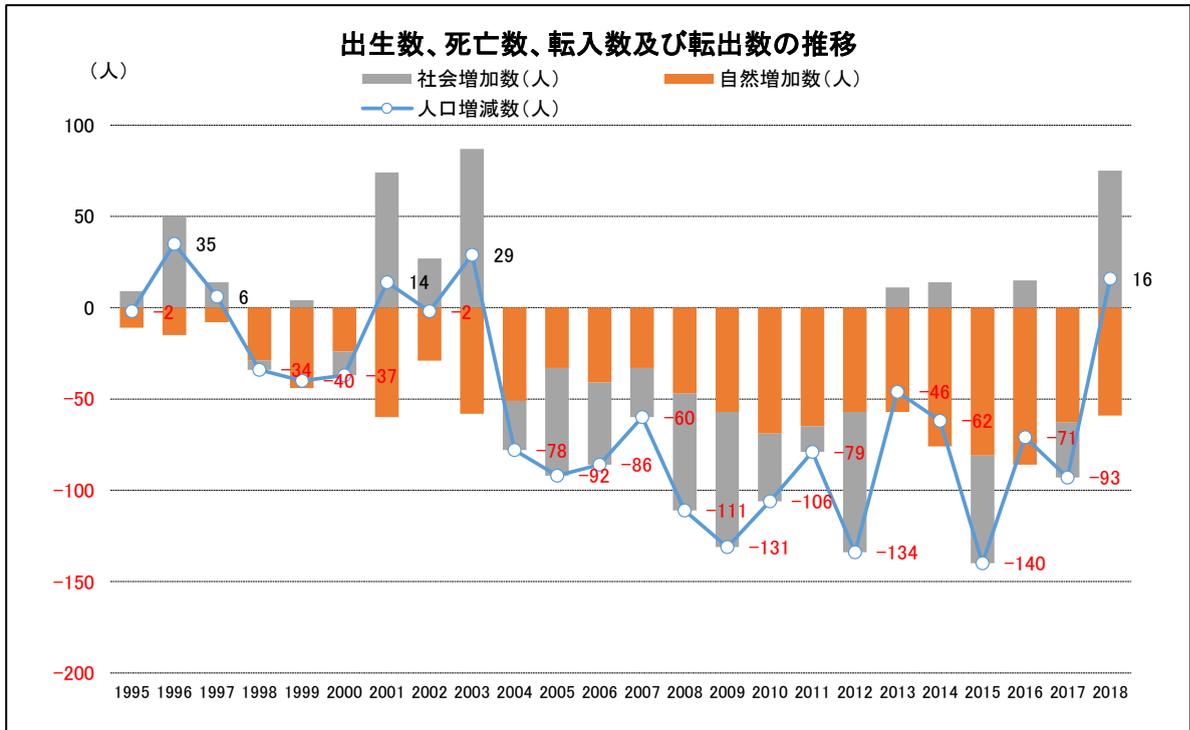


出典：国勢調査結果（総務省統計局）

注）2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）の推計値。

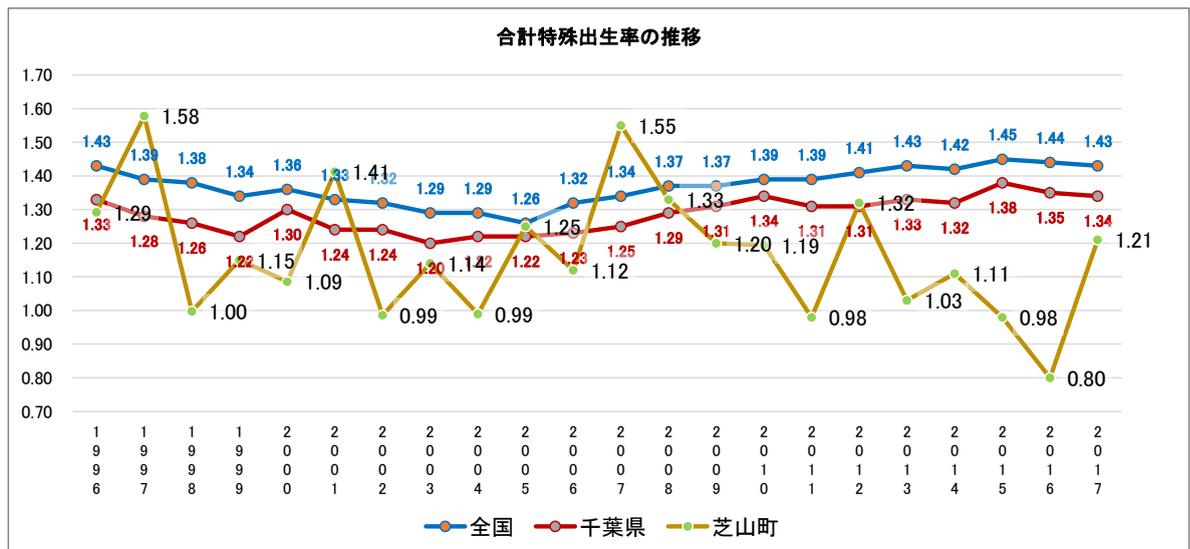
### (3) 人口動態（自然増減・社会増減）

- 出生数と死亡数からみた自然増減はここ 20 年自然減の傾向にあります。
- 転入数と転出数からみた社会増減は 2004 年以降しばらく社会減の傾向が続いたものの、近年は社会増に転じる年もみられ、2018 年は自然減を上回る社会増がみられました。



出典：地域経済分析システム

- 合計特殊出生率<sup>1</sup>の推移をみると、芝山町では 1997 年や 2007 年に全国平均を上回る一方で 2016 年には 0.80 と大きく低下するなど変動の幅が大きいものの、近年は全国値や千葉県値を下回って推移しています。

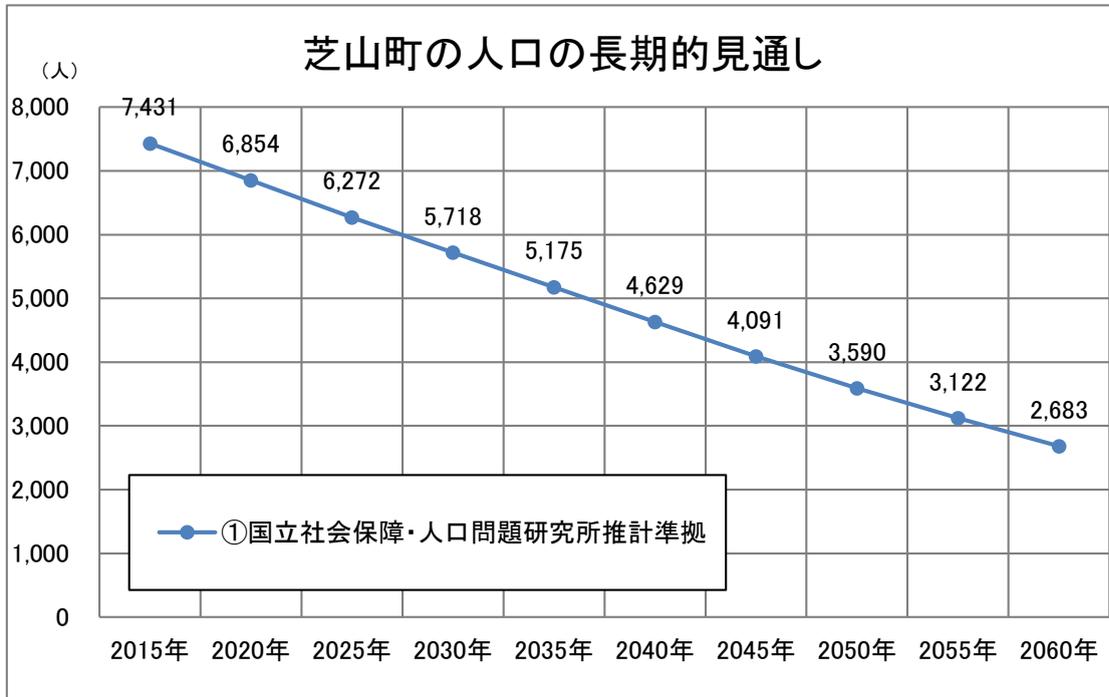


出典：人口動態統計（千葉県とりまとめ）

<sup>1</sup> 15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

## 2. 将来人口の推計

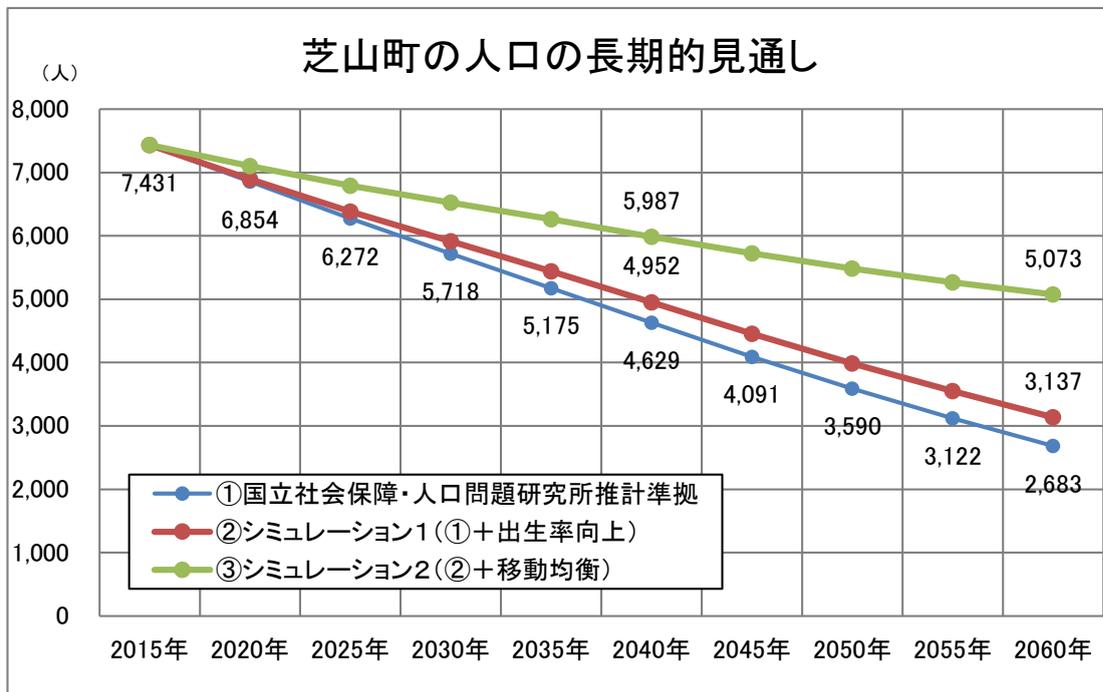
社人研による市町村別人口推計（2019年6月版）によれば、芝山町の人口は今後も減少傾向が続き、このまま行けば2040年には4,629人、2060年には総人口は3,000人を下回る2,683人になると予測されます。



なお、出生率の向上による影響をみると、仮に合計特殊出生率を2030年までに2.10に引き上げた場合、2040年に4,952人、2060年に3,137人となります。

さらに、社会増減の影響を勘案し、出生率の向上に加え、社会増減がなくなる、増減ゼロの状態を仮定すると、2040年に5,987人、2060年に5,073人となります。

こうしたことから、出生率の向上に向けた取組を進めるとともに、転出を抑制していくことが重要となります。



### 3 人口の将来展望

#### 1. 町民意識

町では第5次芝山町総合計画・第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり町民意識調査を実施しました。調査結果の概略は以下のとおりです。

##### (1) 調査の目的

本町の住み心地や町民の定住意向及び人口減少、今後のまちづくり等についての関心を把握し、将来の人口展望及び今後取り組むべきまちづくりの検討材料とするものです。

##### (2) 調査対象

芝山町内に住む16歳以上の町民2,000人

##### (3) 調査方法

無作為抽出による郵送配布、回収は郵送回収またはインターネット回収

##### (4) 調査期間

2019年10月25日（金）～2019年11月8日（金）

##### (5) 回収状況

有効回収数 595票（うちインターネット回答 68票）

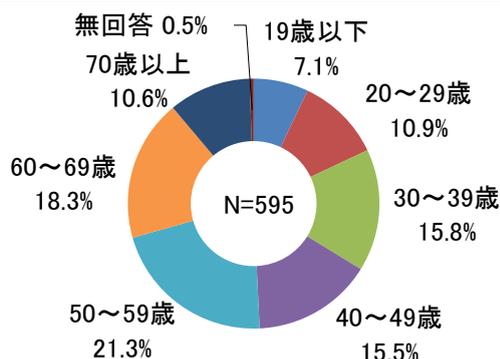
回収率 29.8%

##### (6) 調査結果概要

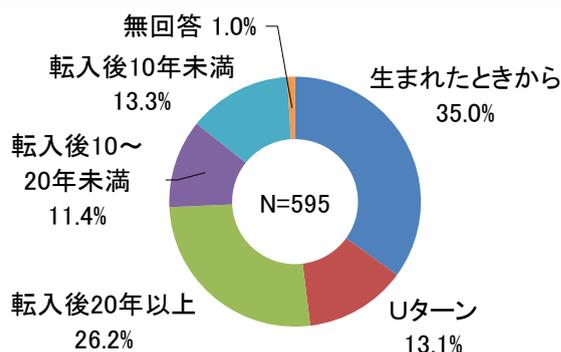
###### ①回答者の属性

回答者の男女比は男性44.0%に対し女性がやや多く52.9%、年齢層は19歳以下が7.1%、70歳以上が10.6%とやや少ないものの、どの年代からも満遍なく回答が寄せられており、30代までの若年層、40～50代の中年層、60代以上の壮年層以上がほぼ三分の一ずつとなっています。居住歴は生まれた時から居住やUターンなどの「芝山町生まれ」が48.1%、転入が50.9%でその中でも20年以上が半数以上を占めています。

問2 年齢



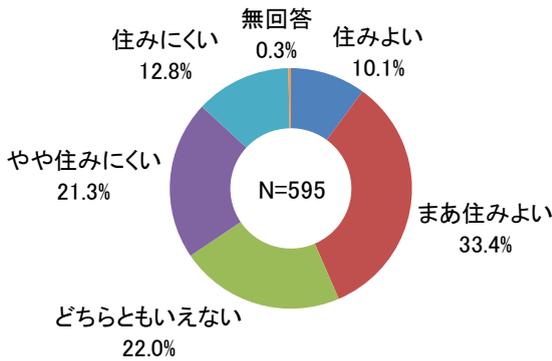
問5 居住歴



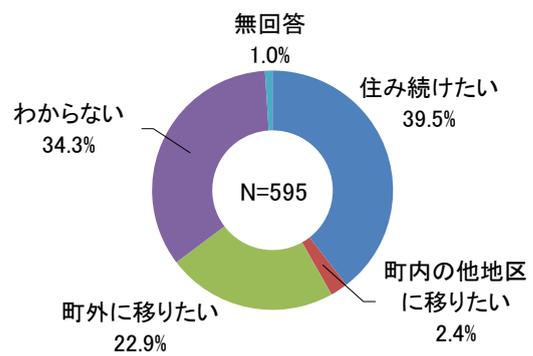
## ②住みよさや定住意識

住みよさについては、『住みよい』（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）が43.5%で『住みにくい』（「住みにくい」と「やや住みにくい」の合計）の34.1%を上回っていますが、内訳は「まあ住みよい」（33.4%）が多く「住みよい」は10.1%であり、「住みにくい」も12.8%みられます。定住意識については「町外に移りたい」が22.9%、「わからない」が34.3%となっており、芝山町への定住意向は4割程度となっています。こうしたことから、町の長所としてあげられた成田空港や緑の豊かさ、新鮮な農産物等を生かし、買物や交通の不便の解消やまちの活気づくり等の課題に取り組んでいく必要があります。

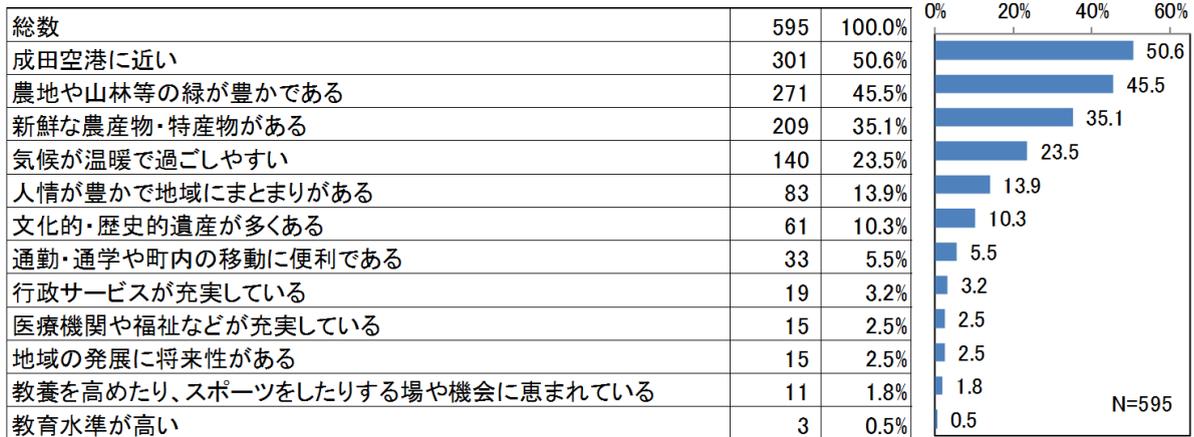
問7 住みよさ意識



問10 定住意識

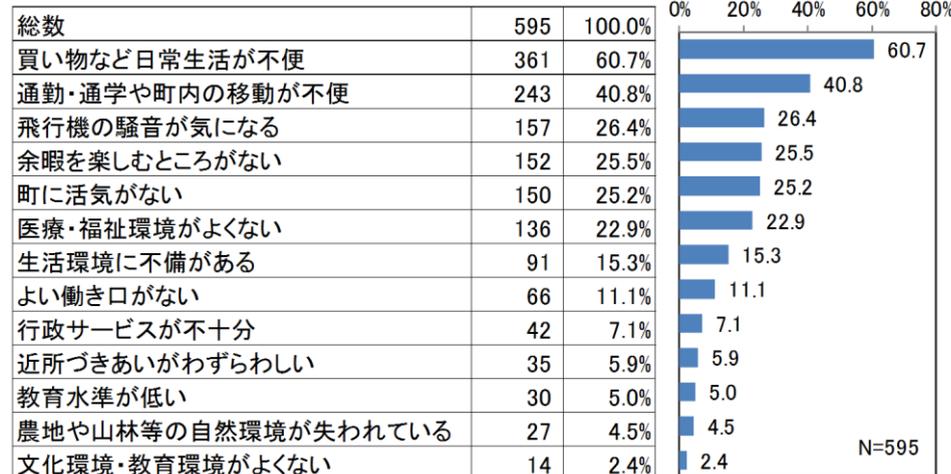


問8 芝山町のよいところ



※わからない、その他、無回答は割愛

問9 芝山町のよくないところ

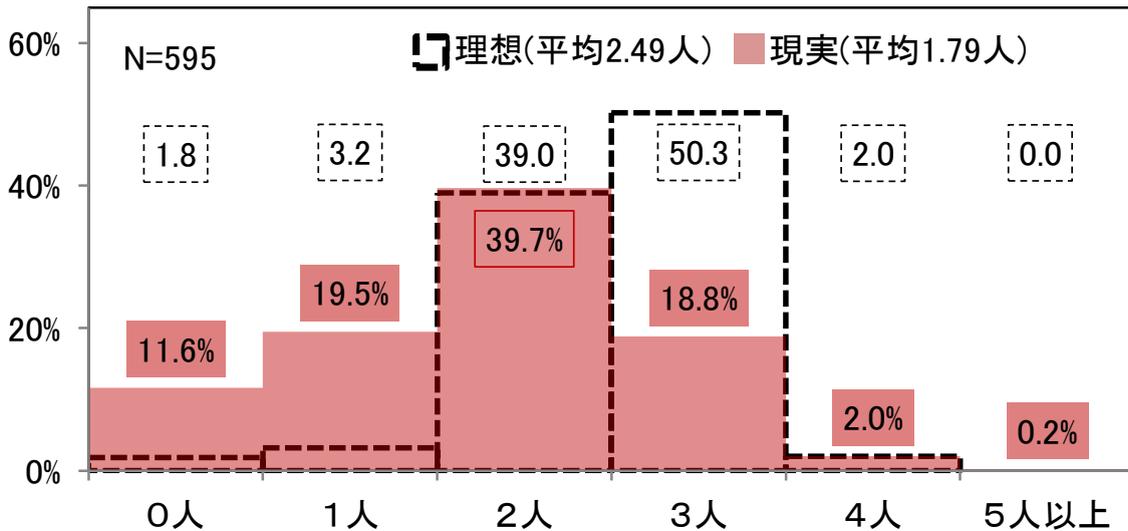


※わからない、その他、無回答は割愛

### ③子どもの人数・理想と現実

子どもの人数の理想では「3人」が50.3%、「2人」が39.0%などで平均は2.49人です。一方、実際、現実的な子どもの人数は「2人」が39.7%、「1人」が19.5%、「0人」も11.6%となっており平均は1.79人とどまります。今後、行政に期待する分野として、保健・医療（40.3%）、公共交通（36.1%）に次いで「子育て支援」が24.0%となっており、少子化の要因として個人の価値観や意識の変化に次いで「子どもの生活費や教育費が大きな負担」となっていることから、経済的支援も含めた子育てしやすい環境づくりが求められています。

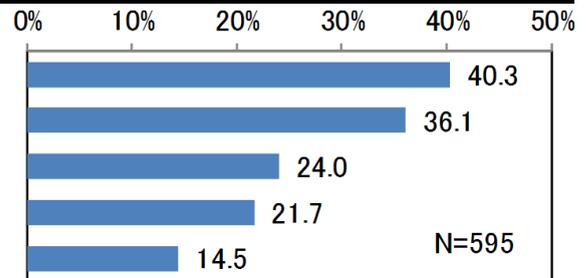
問21 子どもの人数「理想」、問22 子どもの人数「現実、実際」



※平均人数の算出方法 = (各選択肢の「人数」×各「回答者数」の合計) ÷ (回答者総数) ※無回答は除く

問20 町の行政に期待する分野

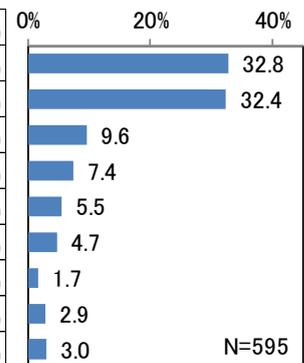
総数	595	100.0%
保健・医療	240	40.3%
公共交通	215	36.1%
子育て支援	143	24.0%
高齢者福祉	129	21.7%
上水道	86	14.5%



※28分野のうち上位5位まで

問23 少子化の要因

総数	595	100.0%
結婚観等の個人の価値観や意識の変化	195	32.8%
子どもの生活費や教育費が大きな負担になる	193	32.4%
パートナーとともに子育てをする環境が整っていない	57	9.6%
国や行政の政策が不十分	44	7.4%
企業の育児に対する理解・協力が得にくい	33	5.5%
仕事が忙しい	28	4.7%
地域での助け合いが減った	10	1.7%
その他	17	2.9%
無回答	18	3.0%



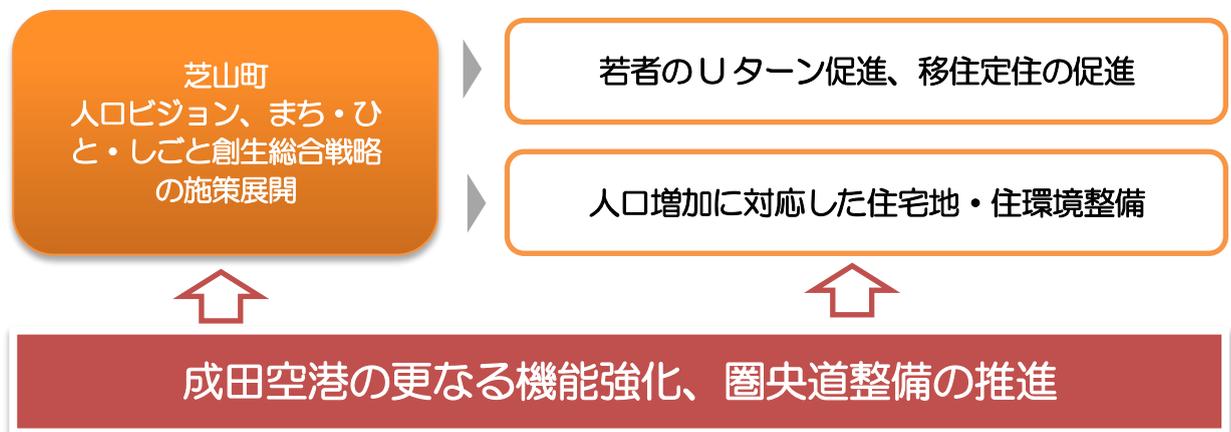
## 2. 目指すべき将来の方向

本町における人口減少傾向は今後も進行し、このままでは、地域経済の縮小、社会保障の負担増等の多くの弊害の発生、本町の衰退につながる可能性も否定できません。人口減少に歯止めをかけるためには、一刻でも早く、出生率の向上と社会増減の均衡を図る必要があります。

こうしたことから、引き続き安定した就労や結婚・出産・子育て等の若い世代の希望をかなえることで出生率の向上を図ります。合計特殊出生率 2.07（人口置換水準<sup>2</sup>）まで向上することで将来人口が安定すれば、人口構造が若返り、経済の好循環を生み出すことができます。

あわせて、新たな「しごと」の創出や地域資源を生かした魅力あるまちづくりによって、これまで東京圏へ流出していた人々を呼び戻し、同時に人口の流出を抑制し、人口の社会増減を均衡させることで、人口減少に大きなブレーキをかけることを目指します。

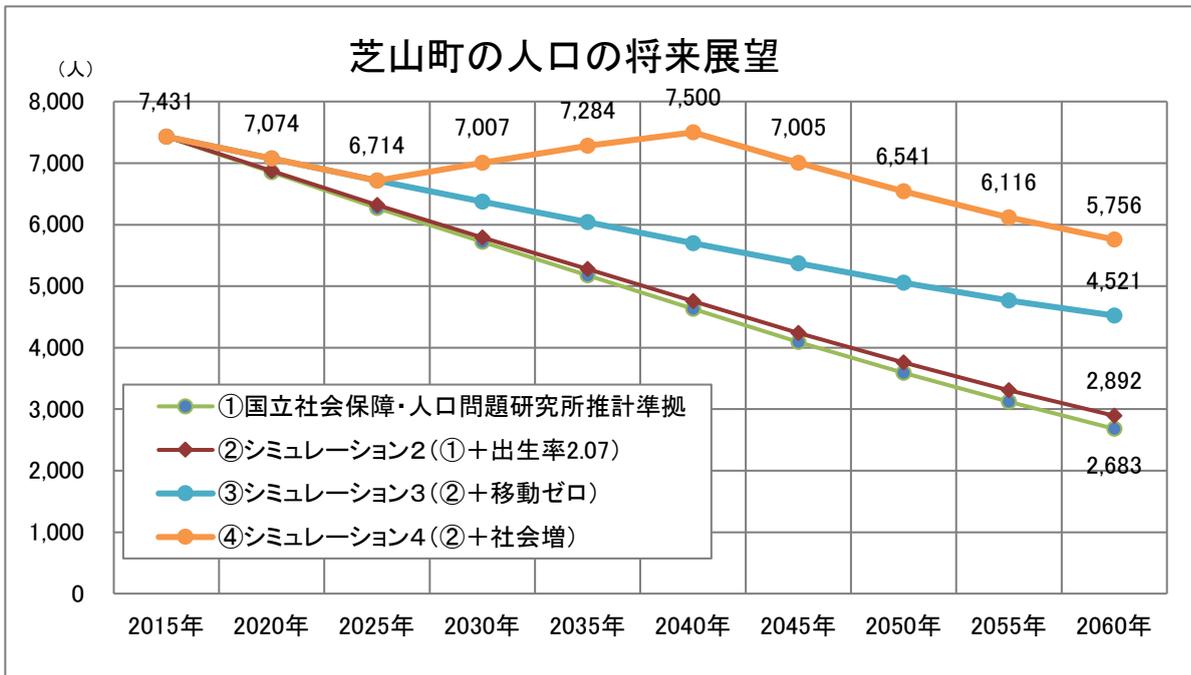
本町においては、成田空港の更なる機能強化や圏央道整備の推進に伴う新たな定住も期待されることから、人口確保に向けた一体的な取組を実施し、人口増に繋げていきます。



<sup>2</sup>人口が増加も減少もしない均衡した状態となる、1人の女性が生涯に生む子どもの数の平均の水準。単純に親世代から「2人」が生まれれば子ども世代になっても人口は同じとなるが、死亡率等を勘案して、現在は「2.07人」となっている。

### 3. 人口の将来展望

芝山町では、目指すべき将来の方向に沿った施策を展開することで今後約 1,500 人の社会増となり、2040 年時点で人口 7,500 人を確保するとともに、2060 年に 5,700 人を維持する見込です。



出典：国勢調査結果（総務省統計局）

注記：仮定値の推計は、まちひとしごと創生本部提供ワークシートによる推計

#### 芝山町の人口の将来展望

○今後も芝山町の人口を維持していくために、合計特殊出生率を 2060 年までに 2.07（人口置換水準）に向上させます。

○出生率の向上と転出の抑制、転入の推進により、社会増減の均衡（増減ゼロ）を目指します。

○成田空港の新滑走路運用開始による空港の更なる機能強化とともに、圏央道の整備も進むことから、空港関連就業者の定住促進により、2040 年にかけて新たな社会増を見込みます。

◎社会増となる「1,500 人」の内訳について

千葉県「実施プラン<sup>3</sup>」によれば、2032 年度の空港内外での雇用増のうち 9 市町居住者は約 3.8 万人とする推計が示されている。今後、若者向け雇用対策や新規住宅地供給、子育て支援の充実等により、芝山町居住の空港内従業員の割合を 2017 年時点の 0.8%<sup>4</sup>から 1.6%以上に引き上げることで新規従業員 608 人以上を確保する。さらに、こうした従業員が家族とともに地域に住み続ける（1 世帯当たり 2.4 人）と仮定し 2040 年には 1,460 人 + α の増加を見込む。

<sup>3</sup>国、千葉県、成田空港周辺 9 市町及び成田国際空港株式会社の四者による「成田空港の更なる機能強化に関する今後の取り組みについて（確認書）」に基づき、「基本プラン」後の具体的な地域活性化策を盛り込んだ計画。2020 年 3 月策定。

<sup>4</sup>2017 年度成田空港内従業員実態調査結果（成田国際空港株式会社）の居住地別従業員数（2017 年 11 月 1 日現在）より引用。

第2次芝山町  
まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

# 1 計画の前提

## 1. まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

我が国の人口は、2008年をピークに減少局面に入っており、今後も加速度的に進むことが予想されています。そうした中、国では人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するために、2014年、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、2060年に1億人程度の人口を維持する中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定するとともに、5か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた、第1期（2015年度から2019年度まで）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

「長期ビジョン」及び「（第1期）まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの基本的視点として、【①「東京一極集中」の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決】を挙げるとともに、【国民の希望の実現に全力を注ぐことが重要】とし、「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化を生み出すことを目指し4つの基本目標と5つの政策原則を定めました。

また、国の取組やまち・ひと・しごと創生法の趣旨を踏まえ、少子高齢化と人口減少という危機感を共有しながら、地方公共団体においても、地方版人口ビジョン及び総合戦略を定めることとしました。

## 2. 第1次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の状況

芝山町においても全国の多くの市町村と同様に人口減少が続いており、今後も人口減少が見込まれることから、町の将来人口を予測し、その課題に対する2019年度までの具体的な施策を示した「芝山町人口ビジョン及び芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2016年3月に策定しました。

人口ビジョンでは、若者のUターン促進・移住定住の促進、人口減少・少子高齢化に対応した住環境の整備に取り組み、2060年の人口を5,000人に維持することを将来展望としました。

総合戦略では、町の目指すべき将来像を「『生涯活躍』を知感、体感できるまちづくり」として、5つの基本方針「しごとの創生」、「ひとを育てる」、「ひとの流れづくり」、「新たな世代への橋渡し」、「幸せ感向上に向けたまちづくり」のもと、人口の将来展望を実現するため、4つの基本目標「安定した雇用を創出する」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」にそれぞれ紐付けられた各種事業に、多様な主体（産学官金連携）で取り組みました。

各施策に合わせて設定した重要業績評価指標（KPI）および数値目標の達成状況は以下のとおりです。

※達成度＝第1次総合戦略策定時の現状値と目標値の差に対する実績の到達度合い

重要業績評価指標（KPI）の達成度

100%以上達成

10/25 指標中

数値目標の達成度

100%以上達成

2/8 数値中

## ■重要業績評価指標（KPI）を達成した施策の取組状況

### 就農支援、農業競争力強化

集落営農組織の設立や法人化に向けた取組を進め、農業生産法人の累計を達成することはできたものの、依然として後継者不足が続いており、引き続き集落営農組織の利点を明らかにし地域の話し合い等を活性化していく必要があります。

### 結婚、出産、子育てへの切れ目のない支援、女性の活躍推進

安心して子育てできる環境づくり、女性が仕事と子育てを両立できる社会づくりとして、保育所待機児童数0人を維持しており、今後も引き続き需要に見合った保育環境の整備や多様なニーズに応える子育て支援の充実を図っていく必要があります。

### 地域資源を活用した観光振興、スポーツ振興

芝山町の特色や地域資源を生かした観光振興として、ひこうきの丘開設という目標は達成され、その後も空港南側圏では温泉入浴施設の開設等が進んでいます。成田空港の機能強化と連動して、周辺の基盤・設備整備や交通アクセスの向上を進めることで更なる魅力の向上に努め、町内外や空港利用者からの誘客を促していく必要があります。

### NPO、大学等との交流促進

芝山町へ新たなひとの流れの誘導するため、NPO等と連携した地域内雇用の創出や農泊事業、大学等と連携したサイクルツーリズム<sup>5</sup>の調査研究に取り組んでおり、今後は成田空港の更なる機能強化により利用客の増加が進むことから、空港南側圏への誘客を目指した実践的な取組を進めていく必要があります。

### ふるさとに対する誇りを高める施策の推進

芝山町の魅力を町内外に発信し町への愛着や誇りを高める取組を進め、特に空港を有する特性を生かした返礼品の人気もあり、ふるさと応援寄附件数は一時期目標を大きく上回る実績を上げましたが、国からの返礼品への見直し要請により今後は落ち着いていく見込であることから、引き続き町の多様な魅力をアピールしながら、全国から芝山町を応援してくれるひとを増やす取組を進める必要があります。

上記のほか、目標数値の達成に至らなかったものの、住民からの要望も高く、引き続き取り組む必要の高い施策、例えば交通アクセスの向上等の生活利便性の向上、防災の強化等の安全性の向上、特色ある教育や子育て支援の充実等に引き続き取り組んでいく必要があります。

---

<sup>5</sup> 自転車を活用した観光事業

### 3. 国の第2期総合戦略における新たな視点

国では、第2期総合戦略の策定にあたって、第1期で根付いた地方創生の意識や取組を2020年度以降にも継続し、『継続を力にする』という姿勢で、次のステップに向けて歩みを確かなものとする事とし、第1期の検証を踏まえ、現行の4つの基本目標と、情報支援・人材支援・財政支援という「地方創生版・三本の矢」の支援の枠組を基本的に維持しつつ、必要な見直しを行っています。

#### ■4つの基本目標

- 基本目標1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 基本目標2) 地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、  
地域と地域を連携する

また、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、次のような6つの新たな視点に重点を置いて施策を進めています。

#### ■第2期総合戦略における新たな視点

##### (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

##### (2) 新しい時代の流れを力にする

◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。◆SDGsを原動力とした地方創生。◆「地方から世界へ」。

##### (3) 人材を育て生かす

◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

##### (4) 民間と協働する

◆地方公共団体に加え、NPO等の地域づくりを担う組織や企業と連携。

##### (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

◆女性、高齢者、障害者、外国人等、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

##### (6) 地域経営の視点で取り組む

◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

#### Society 5.0

Society 5.0とは、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会。IoT<sup>6</sup>（Internet of Things）で全てのひととモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまでの課題や困難を克服する。

#### SDGs

SDGs（エスディーゼズ）とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、2015年9月の国連サミットで決められた国際社会共通の目標。17の目標と169のターゲット（具体目標）で構成されている。



<sup>6</sup>パソコンやスマートフォン等の情報機器が接続していたインターネットに、産業用機器から自動車、家電製品等さまざまな「モノ」をつなげる技術。

## 2 第2次総合戦略の概要

### 1. 策定にあたっての基本姿勢

国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に向けて、第1期の取組の検証を踏まえ基本的な枠組を維持しつつ必要な見直しを行っています。

本町においても、切れ目ない取組を進めるため、次期総合戦略を「第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2次総合戦略」という。）と称し、現総合戦略に掲げた4つの基本目標を維持しつつ、これまでの取組の成果や課題を評価・検証し、かつ、今後予定されている首都圏中央自動車連絡道（圏央道）の整備、成田空港の更なる機能強化といった社会的変化を見据え、必要な見直しを行うものとします。

また、第2次総合戦略の推進にあたっては、Society 5.0 やSDGs等の新たな視点を取り入れ、地域内外の様々なステークホルダー<sup>7</sup>が立場を超えて連携しながら、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて取り組んでいくこととします。

### 2. 計画期間

計画期間については、国の次期まち・ひと・しごと創生総合戦略や千葉県地方創生総合戦略と同様、2020年度から2024年度までの5年間を計画とします。

### 3. 芝山町総合計画<sup>8</sup>等との関係

第2次総合戦略は、人口減少に歯止めをかけ、地域の持続的な成長を目指すものとして、芝山町総合計画の施策を分野横断的に抽出した性格を有することから、芝山町総合計画との整合を図りながら策定します。



<sup>7</sup> 企業活動を行う上で関わる全ての関係者のこと。利害関係者。

<sup>8</sup> 芝山町の今後のまちづくりに関する方向性や幅広い分野別の取組を示す、町の最上位計画。現在2020年度までを計画期間とする第4次計画が進行中であり、引き続き2021年度から2030年度の第5次計画を策定予定。

### 3 第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

#### 1. 第2次総合戦略の基本方針

第2次総合戦略では、国と同様、これまでの継続を力にすべく、第1次の将来像、基本目標、基本方針に沿いつつ、新たな課題を踏まえた取組を進めます。また、新たな人口ビジョンの将来展望に示すとおり、成田空港の更なる機能強化や圏央道整備の推進に伴う新たな定住人口確保を図り、2040年に7,500人の人口を確保すべく、一体的な取組を実施していきます。

#### ■町の目指すべき将来像

「生涯活躍」を知感、体感できるまちづくり

#### ■基本目標・基本方針

**基本目標 1 「安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する」**

基本方針 1 「働ける場所の創生」

基本方針 2 「ひとの育成」

**基本目標 2 「新しいひとの流れをつくる」**

基本方針 3 「ひとの流れづくり」

**基本目標 3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」**

基本方針 4 「新たな世代への橋渡し」

**基本目標 4 「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」**

基本方針 5 「幸せ感向上に向けたまちづくり」

次頁以降の各取組には「関連するSDGs」を以下のアイコンで示しています。

 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう
 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任つかう責任	 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう
 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリープで目標を達成しよう			

**SDGsの17の目標**

## 2. 各施策と数値目標・重要業績評価指標（KPI）

### 基本目標Ⅰ 安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する

人口減少を抑止し、町民の暮らしを支える社会基盤や行政機能を将来にわたり維持するために、安定した雇用を確保することが必要です。このため、若者やU I J ターンの受け皿となる地域雇用の場の創出や農業・産業振興、働きたい意欲のある人が働きやすい環境づくり等「働ける場所の創生」に取り組みます。あわせて、新規のビジネスにチャレンジする人材育成支援や女性が活躍する社会づくり等「ひとの育成」の取組を進めます。

#### 数値目標

項目	現状	目標<2024年度>
人口に占める就業者の割合 (就業者数÷総人口(国調))	54% 2015年国調	55%

#### 基本方針1「働ける場所の創生」

##### ①若者・U I J ターン雇用対策の推進

関連するSDGs



高卒者や大卒者向けの家賃等の支援により町内での若者やU I J ターン者の雇用を促進します。また、今後成田空港の機能強化、圏央道整備等による本町の将来性や特性を生かし、新たな産業用地の創出や本社機能移転を含めた企業誘致を図ります。

#### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
雇用促進事業	町内での雇用促進策として、高卒者・大卒者に対する家賃補助等の支援を検討する。	企画調整係
産業用地の創出 <新規>	産業用地の創出に向けて千葉県と連携し誘致を推進していく。また、企業の立地を促進するため、周辺道路の整備も庁内で検討していく。	企画調整係
企業誘致	既存の工業団地内に進出する企業向けの町補助金事業（芝山町企業誘致条例）の補助要件等の見直しを行い、企業誘致を推進する。	企画調整係

#### KPIの設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
昼間人口率（国勢調査）	149.6% 2015年国調	150%

## 関連するSDGs



## ②就農支援、農業競争力強化

農業は本町の基幹産業であり、今後も持続性ある産業と位置づけて支援します。このため、集落営農組織の設立や法人化や地産地消の推進、農産物の加工・販売への支援等、農業の魅力や競争力を強化し、多様な担い手の確保・育成に努めます。

## 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
農業振興支援事業	集落営農組織の設立や法人化に向けて、現在設置の協議を行っている山田地区をはじめ、引き続き地域での話し合いを活性化する。	農政係
地産地消推進事業	農業協同組合と学校、学校給食センターの連携による学校給食での地元農産物の活用推進、町内食育サポート企業による小学生向け食育教室等を推進する。	農政係
「風和里しばやま」の運営支援	農業生産者等との連携により、安心安全な地元農産物の提供、PRを推進するとともに、POSレジ通過者の把握・分析により更なる集客力向上を図る。	産業振興係
新農産物の開発・支援	農業者や生産者団体と連携し、町内産品を使った加工品の開発に対して、国・県の既存補助事業や町独自制度の創設等により支援していく。	農政係
農業振興地域整備計画の見直し事業 <新規>	町が実施する農業振興地域整備計画の変更（全体見直し）を行うための基礎調査や経済事業の変動その他情勢の推移により必要が生じた、町農業振興地域整備基本方針及び農用地区域の変更を行い、適正な土地利用を推進する。	農政係

## KPIの設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
新規就農者数（累計）	13人 (2014～2018年度累計)	15人 (2020～2024年度累計)
農業生産法人数	8法人	10法人
集落営農組織数 <新規>	1	2

関連する SDG s



### ③すべてのひとが活躍できる社会の実現

仕事を退職した方、高齢者、障がいを持った方、外国人等のなかで、働く意欲のあるすべての方が地域で活躍できるよう、シルバー人材センターや福祉作業所等の既存施設での活動支援を行うとともに、個々の知識や技術と地域ニーズとのマッチングを図る人材バンク事業等、多様な場の提供を図ります。地域活動に関わる人材を養成し、地域の団体との連携を図るため、社会福祉協議会の活動を支援します。

#### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
人材バンク事業 【（仮称）アクティブシニア活躍事業から名称変更】	企業勤務経験の知識や技術があり、時間を有効に使いたいシニア世代等を中心に、地域のさまざまな活動・事業とのマッチングを図る人材バンク事業を検討する。	福祉係 企画調整係
シルバー人材センター事業	シルバー人材センターについては、引き続き家庭や地域での軽作業のニーズに応じるとともに、人材バンク事業との棲み分けやマッチング等を検討していく。	福祉係
福祉作業所運営事業	現在は町の独自活動拠点として運営しているが、今後は地域活動支援センターⅢ型 <sup>9</sup> への移行も検討しつつ、引き続き制作品の販売ルート確保等を図っていく。	福祉係
社会福祉協議会活動支援事業	団塊世代が後期高齢者に到達し、見守りや買い物支援、給食支援等のニーズ増大が予想されることから、これらを担う社会福祉協議会活動への支援を強化充実する。	福祉係

#### KPI の設定

K P I（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
シルバー人材センター登録数	30人	40人

<sup>9</sup> 地域で暮らす障がい者が利用できる通所施設。日中の居場所、活動の場として、相談や医療・支援機関との連携調整、機能訓練や社会適応訓練、就労支援等を行う。職員配置や利用人数によってⅠ型からⅢ型に分類され、このうちⅢ型の要件は1日あたりの利用人数が10人以上で、障がい者支援の実績が5年以上ある小規模作業所となっている。

## 基本方針2「ひとの育成」

## ①新ビジネス創出支援

関連するSDGs



町内での創業希望者に対して、施設や資金、手続き等幅広い視点から相談支援を行い、若者や退職者等やる気のあるひとの新ビジネスの展開を支援します。また、小規模事業者が安定的かつ継続的に事業展開できる環境整備や経営能力、資金調達力等の強化を支援し、中小企業等の持続的な発展を図ります。

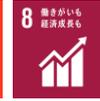
## 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
芝山町創業育成事業 【(仮称)芝山創生チャレンジ事業から名称変更】	町内における創業希望者に対し、創業に向けた施設・設備面や資金面、手続き等幅広い視点から相談支援を行う体制を整備する。	企画調整係
小規模事業者経営改善事業	商工会と連携し、中小企業の経営基盤強化に向けた研修会や指導講習会の実施、各種融資制度の斡旋を通じて経営の安定化を促進する。	産業振興係

## KPIの設定

KPI (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
創業育成事業による創業者数(累計)	0人	2人

関連する SDG s



## ②女性の活躍推進

女性の活躍推進は多様な価値観や地域内の多様な人材の確保につながることから、女性が安心して仕事と子育てを両立できるよう、保育や一時預かり、相談支援の場の確保や子どもの医療費補助等の子育て支援を推進します。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
子ども・子育て支援事業	女性が安心して仕事と子育てを両立できるよう、保育所や一時預かり事業、学童クラブ（放課後児童健全育成事業）、子育て支援センターの整備を進めるとともに、子ども医療費助成制度事業やひとり親医療費助成事業等の各種助成制度により経済的支援を行う。なお、子ども医療費助成制度事業については、負担軽減、対象者の見直しを含めて検討していく。	子育て支援係
男女共同参画支援事業	2020年度中に芝山町男女共同参画計画を策定するとともに、周辺市町と連携したイベントへの参加や広報紙の発行等での普及啓発を推進する。	行政係

### KPIの設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
保育所待機児童数（単年度）	0人	0人
女性対象講座開催回数（年間）	0回	2回

## 基本目標Ⅱ 新しいひとの流れをつくる

芝山町に移住・定住したいというひとを増やすために、まず芝山町のよさや特色を知ってもらうこと、来てみたいと思ってもらうことが重要です。このため、地域資源を生かした観光やスポーツによる交流促進やDMOや大学等との連携、町へのアクセス向上により関係人口を増やす取組を進めます。さらに、ここに住みたいというひとに対し、空き家の利活用や住宅支援等による移住定住促進を図ります。

### 数値目標

項目	現状	目標<2024年度>
町HP年間アクセス数	50万PV	55万PV
風和里しばやま年間レジ通過者	57万人 2018年	58万人

### 基本方針3「ひとの流れづくり」

#### ①地域資源を活用した観光振興・スポーツ振興

関連するSDGs



観光・スポーツによる交流人口の増加を図るため、成田空港の南側エリアに広がるスカイパークしばやまへの集客推進をはじめ、本町の持つ歴史・文化や自然を生かした観光資源の活用、訪れた人々が快適に過ごせるための公衆無線LAN整備、スポーツを通じた交流の促進等に取り組めます。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
スカイパークしばやま整備事業	空の駅風和里しばやまへの送迎サービスや公共交通でのアクセス向上に取り組み、民間温浴施設の開業や農業や自然環境を生かしたグリーンツーリズム <sup>10</sup> 等、地域資源を活用した更なる集客を推進強化する。	産業振興係
芝山公園再整備事業 <新規>	町内の拠点公園である芝山公園は、芝山仁王尊や芝山古墳・はにわ博物館等の地域資源が隣接し、はにわ祭りやハンドメイドフェス、桜フェス等のイベント会場としても活用されており、再整備による魅力向上を図る。	都市計画係

<sup>10</sup> 農山漁村に滞在し農漁業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図る余暇活動のこと。

高谷川沿い道路の整備 <新規>	主要地方道八日市場八街線と国道 296 号を結び町東部地域の南北軸を補完する道路を高谷川沿いに整備し、河川空間と一体的なサイクリングロードや遊歩道の機能も合わせた水と緑のネットワーク軸を創出する。	都市計画係 道路建設係
公衆無線 LAN 整備事業	町民をはじめ町内を訪れる観光客への利便性向上のため、町内の観光施設やスポーツ施設等を中心に公衆無線 LAN の整備に向けた検討を進める。	情報公聴係
観光振興事業	はにわ祭りや成田エアポートツーデーマーチといった各種イベント、道の駅や空の駅、航空科学博物館等の観光施設、農業・自然とふれあうグリーンツーリズム等、芝山町の魅力を PR していく。	産業振興係
スポーツ振興事業	大学や地元企業と連携した少年少女スポーツ教室事業やスポーツ大会、町民体育祭等により、スポーツを通じて町内外からひとの集まる行事・イベントを実施する。	社会教育係
スカイパークしばやまの 回遊性向上	成田空港利用者等の誘客を目指し、空港南側圏におけるサイクルツーリズムやレンタサイクル事業、航空科学博物館へのパークアンドライド <sup>11</sup> 事業等に取り組む。	空港地域 振興係 企画調整係
農泊推進事業 (みどりと空のプロジェクトとの連携事業) <新規>	町内において、インバウンド客を含めた観光客向けの宿泊場所を提供し、農業体験や人々との交流を促すことで、町の魅力を PR することはもとより、農家の所得向上を目指し、地域のにぎわいを創出する。	産業振興係 企画調整係

### KPI の設定

K P I (重要業績評価指数)	現状	目標<2024 年度>
観光入れ込み客数	68 万人 2018 年	85 万人
観光体験農園整備箇所数	0 箇所	1 箇所

<sup>11</sup> 自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、自動車を駐車させた後、バスや鉄道等の公共交通機関を利用して、都心部の目的地に向かうシステム。

関連する SDG s



## ②多様な情報発信力強化

住民一人ひとりに対して町から迅速に的確な情報提供がなされるよう、住民情報メールによる防災防犯情報やお知らせ等の情報発信を充実するとともに、より多くのひとが直接情報に触れられるよう広報や各種会合を通じて利用の周知、促進を図ります。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
住民情報メール推進事業	住民個々へ防災防犯情報や町からのお知らせを直接発信できる住民情報メールについて、引き続き広報しばやまや区長会での周知を進め利用を促進する。	自治振興係

### KPI の設定

K P I (重要業績評価指数)	現状	目標<2024 年度>
住民情報メール登録者数	869 人	1,100 人

関連する SDGs



### ③町への移住・定住の促進

若者から高齢者に至るまでの幅広い層の移住希望者の方に芝山町を選択してもらえるよう移住・定住促進に向けた相談支援を充実強化するとともに、新婚・子育て世代向けの住宅購入支援や三世帯同居の支援等の住宅支援を推進します。

#### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
移住相談支援事業	移住希望者向けパンフレットの製作やワンストップ相談窓口 <sup>12</sup> の設置等、ニーズに応じたオーダーメイドの支援を行うことで移住者の増加に向けた支援を強化していく。	企画調整係
新婚・子育て世帯住宅購入支援事業	新婚・子育て世帯の住宅購入に対し、補助金の交付のほか、固定資産税等の税負担軽減等、より効果的な支援策を検討し実施していく。	企画調整係
三世帯同居等支援事業	町内に三世帯が新たに同居等をするために住宅を新築、増築または購入する場合の費用の一部を助成する事業について、引き続き周知活動を行い、件数増加に努めていく。	企画調整係

#### KPI の設定

KPI (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
移住相談者数 (単年度)	0人	50人
三世帯同居等支援事業申請者数 (単年度)	3人	6人

<sup>12</sup> ひとつの場所でさまざまなサービスが受けられる、一本化された相談窓口。

④DMO<sup>13</sup>、大学等と連携した交流促進

関連するSDGs



DMO、大学等と連携し、従来の行政枠を超えた多様な事業の推進を図ります。また、連携する団体の得意分野を生かし、地域課題の解決に貢献する取組を支援します。

## 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
DMO、大学等と連携した交流促進事業	芝山 DMO「みどりと空のプロジェクト」の地域活性化に向けた取組への支援をはじめ、大学等と連携し地方創生を推進するための各種調査研究を支援していく。	企画調整係
農泊推進事業 (みどりと空のプロジェクトとの連携事業) <再掲>	町内において、インバウンド客を含めた観光客向けの宿泊場所を提供し、農業体験や人々との交流を促すことで、町の魅力を PR することはもとより、農家の所得向上を目指し、地域のにぎわいを創出する。	産業振興係 企画調整係

## KPI の設定

KPI (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
DMO、大学等と連携した交流促進の取組件数(累計)	2件	5件

<sup>13</sup> 観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗等、地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。Destination Management Organization (デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション) の頭文字の略。

関連する SDG s



## ⑤公共施設、公的不動産の利活用

老朽化する公共施設の適正な維持管理、長寿命化を図るとともに、低利用公共施設、未利用不動産の利活用を推進します。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
低利用公共施設利活用事業	低利用公共施設の再編について、2020年度策定予定の個別施設計画等による検討を行い、民間事業者への活用を推進していく。	契約管財係

### KPI の設定

K P I (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
低利用公共施設の利活用件数 (累計)	2件	3件

## ⑥空き家等対策の推進

関連する SDGs



人口減少や高齢化により増加している空き家、不耕作農地の適正な管理・利活用がなされるよう、空き家・空き地バンクの活用や農地中間管理機構と連携した事業を推進します。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
空き家等対策事業 <新規>	2019年4月に策定した空家等対策計画に基づき各種施策を推進する。また、成田空港の機能強化による空港関連就業者等の定住の場としての活用も促進していく。	都市計画係 企画調整係
農地中間管理機構との連携	農地中間管理機構と連携した農業移住の推進に向けて、就農希望者の募集や借り受ける圃場近辺の空き家の確保等を進める。	農政係

### KPIの設定

KPI (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
町実態調査における空家等の件数 <新規>	243件 2017年	243件 2023年
空き家・空き地バンクの登録件数 <新規>	制度なし 2017年	18件 2023年
空き家・空き地バンクの成約件数 <新規>	制度なし 2017年	5件 2023年
管理不全な空家等の件数 <新規>	7件 (空家等全体の2.8%) 2017年	0件 (空家等全体の0%) 2023年

関連する SDG s



## ⑦交通アクセス向上

公共交通の利便性向上に向けて、バスターミナルの整備による都心や成田空港、圏央道とのアクセス強化を図ります。また、成田空港利用者が芝山町の観光施設等に気軽に足を伸ばせるよう空港南側圏へのアクセス向上に努めます。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
バスターミナル整備事業 <新規>	町内で運行しているバス路線（ふれあいバス、空港シャトルバス、成田シャトル等）の停留所を集約したバスターミナルを整備し、公共交通の利便性向上を図る。	空港地域 振興係
公共交通事業	ふれあいバスについては利用者のニーズを見極め新規のバス路線設置に向けた検討を進めるとともに、あいあいタクシーについても増車や利用日拡大等により交通弱者への利便性向上に努める。	空港地域 振興係
既存市街地と郊外住宅団地との連携強化	郊外住宅団地の生活利便性の充実に図るため、小池地区の既存市街地とのアクセス性の向上に向けて、新たな交通網の創出に向けて検討を進める。	空港地域 振興係
スカイパークしばやまの回遊性向上 <再掲>	成田空港利用者等の誘客を目指し、空港南側圏におけるサイクルツーリズムやレンタサイクル事業、航空科学博物館へのパークアンドライド事業等に取り組む。	空港地域 振興係 企画調整係

### KPI の設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
空港シャトルバス年間利用者数	9.5万人 2018年	10.5万人
芝山鉄道年間利用者数	56.3万人 2018年	60万人
バスターミナル整備	—	1箇所

## 基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

町民意識調査結果によれば、子どもの人数の理想では「3人」が多い一方、現実的に「2人」となっており、少子化の要因として個人の価値観や意識の変化に次いで子どもの生活費や教育費の負担が挙がっており、経済的支援も含めた子育てしやすい環境づくりが求められています。

こうしたことから、結婚、妊娠・出産、育児に至る各段階の負担・悩み・不安に対し切れ目ない支援に取り組むとともに、芝山町としての特色を生かした質の高い教育環境の整備を推進します。

### 数値目標

項目	現状	目標<2024年度>
合計特殊出生率の増加	1.21 2017年	1.5
乳幼児（0～5歳）率の増加	2.8% 2018年	4.5%

### 基本方針4「新たな世代への橋渡し」

#### ①結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援

関連するSDGs



若い世代に対する結婚に向けた出会いの機会の提供等、婚活の支援に取り組むとともに、芝山町で安心して妊娠・出産、育児ができるよう、多様なニーズに対応できる子育て支援施設の整備や子育て家庭を社会全体で支える子育て支援を推進します。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
婚活支援事業	結婚を希望する独身男女への出会いの場の提供や婚活イベント主催者への補助金支給等を検討していく。	企画調整係
子育て支援施設整備事業	子育て関連施設あり方検討により、保育所の統合や長寿命化を検討するとともに、保健センターの別棟の増築を含む長寿命化改修に併せて子育て支援センターの機能を設置移転する。	子育て支援係

子ども・子育て支援事業 <再掲>	女性が安心して仕事と子育てを両立できるよう、保育所や一時預かり事業、学童クラブ（放課後児童健全育成事業）、子育て支援センターの整備を進めるとともに、子ども医療費助成制度事業やひとり親医療費助成事業等の各種助成制度により経済的支援を行う。なお、子ども医療費助成制度事業については、負担軽減、対象者の見直しを含めて検討していく。	子育て 支援係
---------------------	--	------------

**KPI の設定**

K P I（重要業績評価指数）	現状	目標<2024 年度>
保育所待機児童数（単年度）<再掲>	0人	0人

## ②特色ある学校教育の推進

関連する SDGs



子育て世代にとって子どもの教育環境は住む場所を選択する際の重要な要素であることから、全ての子どもたちが質の高い教育を受けることができるよう、成田空港を有する芝山町としての特色を生かした教育や体験学習、各種団体と連携協力した子どもたちの主体的な学びを支える取組の充実等を推進します。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
中学生自然体験学習事業	中学2年生が奄美大島の豊かな自然や風土に触れる体験学習を通じて、お互いに郷土の風土や風習を理解し親睦を深めるとともに、今後は奄美大島からの受け入れについても検討を進める。	学校教育係
成田空港と空港のしごとを知る講座事業	町内小中学生を対象に、空港見学や職場体験、講座等を開催し、関連業界への興味関心を向上させ、将来的に地元に住みながら空港に勤務するひとの割合を向上させる。	企画調整係
子ども地方創生戦略プロジェクト（若竹塾）	小学生対象の親子体験教室「若竹塾」では陶芸教室やグラウンドゴルフ、工作教室等多様な事業を実施しており、今後も子ども会や青少年相談員等の各種団体との共催事業を展開していく。	社会教育係
特色ある学校教育の推進	成田空港に隣接していることから、2019年度から中学生の修学旅行の行先を海外にしており、今後も異国の文化、歴史を習得し自ら外国文化を学ぶ意欲を身につけられるよう、グローバル人材育成に向けた取組を推進していく。	学校教育係

### KPIの設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標＜2024年度＞
中学生自然体験学習参加者数（累計）	277人	480人
子ども地方創生戦略プロジェクト（若竹塾）	220人	230人

**基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る**

町民意識調査結果によれば、重要だが満足していない町の施策として「交流連携を支える交通ネットワーク」や「安全を支える体制づくり」、「快適な生活環境の整備」、「魅力のあるまちづくり」が挙がっています。

こうしたことから、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るために、地域と一体となった防災体制の強化やふるさと芝山の魅力や誇りを高める取組、地域の住民がともに生き生きと暮らせる拠点づくり、成田空港の機能強化に伴う交通インフラや周辺自治体との連携強化等を進めます。

**数値目標**

項目	現状	目標<2024年度>
転入者率の増加	3.2% 2018年	4.5%
DMO、大学等と連携した交流促進の取組件数（累計）	2件	5件

**基本方針 5 「幸せ感向上に向けたまちづくり」**

**①防災の強化と住民主体の地域防災組織の育成**

関連する SDG s

災害から町民の生命・身体・財産を守るため、住民主体、地区主体の自主防災組織の育成強化を図るとともに、災害時の迅速な情報伝達に役立つ公衆無線 LAN の整備や女性も災害支援者として協力できる体制づくり等、地域と一体となった防災体制の強化を進めます。

**具体的な事業**

具体的な事業	概要	担当部署
住民主体・地区主体の自主防災組織設置促進	住民主体・地区主体の自主防災組織の設立に向けて、引き続き区長会等を通じて組織化や補助金の活用を周知していく。	自治振興係
公衆無線 LAN 整備事業 <再掲>	町民をはじめ町内を訪れる観光客への利便性向上のため、町内の観光施設やスポーツ施設等を中心に公衆無線 LAN の整備に向けた検討を進める。	情報公聴係
防災支援員育成事業	これまで女性限定であったが、災害時に地域でできる活動や登録方法を見直し、より幅広いひとたちが参画する防災支援員の育成を推進する。	自治振興係

## KPIの設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標<2024年度>
地区主体自主防災組織数（累計）	2	5

関連する SDG s



## ②ふるさとに対する誇りを高める施策の推進

芝山を愛し、住みたいひとの増加を図るため、町の多様な魅力を町外の方に積極的に情報発信し、各種団体や企業と連携したイベント活動支援やふるさと応援寄附等での参画促進等、ふるさと・芝山町への愛着や誇りを醸成する取組を進めます。

### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
ふるさと応援寄附事業	ふるさと応援寄附については、町内事業者と連携しながら町の新たな魅力を発掘し、町自体のPRにも繋がるような返礼品等を検討し引き続き推進していく。	企画調整係
各種団体・民間イベント支援	観光協会や産業まつり、はにわ祭りの実行委員会等、各種団体の民間イベント活動を引き続き支援していく。	産業振興係
観光振興事業<再掲>	はにわ祭りや成田エアポートツーデーマーチといった各種イベント、道の駅や空の駅、航空科学博物館等の観光施設、農業・自然とふれあうグリーンツーリズム等、芝山町の魅力をPRしていく。	産業振興係

### KPIの設定

KPI (重要業績評価指数)	現状	目標<2024年度>
ふるさと応援寄附件数 (単年度)	2,629件 2018年	2,600件を維持
企業版ふるさと納税実施件数	0件	2件

## 関連する SDGs



## ③ 「小さな拠点」の形成

地域コミュニティの構築と人々の交流を促進するため、低利用公共施設を核とした交流人口受入施設整備に取り組みます。地域の課題に対し、住民活動団体や企業、NPO等多様な主体が連携・協働して行う取組を促進し、住民が生き生きと暮らせる地域づくりを進めます。

## 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
低利用公共施設利活用事業 <再掲>	低利用公共施設の再編について、2020年度策定予定の個別施設計画等による検討を行い、民間事業者への活用を推進していく。	契約管財係

関連する SDG s



#### ④成田空港や圏央道を活用したまちづくり

成田空港の更なる機能強化に伴って、空港関連就業者等の受け皿となる市街地再編や空港周辺地域の振興策の推進を図ります。また、成田空港周辺自治体や関係機関との連携のもと、今後整備される圏央道 I C 等を生かしたインフラ整備や企業誘致を図り、町の活性化を目指します。

#### 具体的な事業

具体的な事業	概要	担当部署
市街地再編事業<新規>	成田空港の更なる機能強化に伴う移転対象者や空港関連就業者等の方々の受け皿として、都市計画マスタープランに位置付けた住宅系3拠点の整備を推進する。	都市計画係 企画調整係
圏央道 I C エリアの地域活性化	圏央道の開通に併せ、新たなにぎわい創出のための観光交流拠点の整備等を検討していく。	企画調整係

## 4 計画の推進に向けて

### 1. 推進体制

第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第1次の評価・検証、町民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）の代表者で組織する「芝山町総合戦略推進会議」での意見交換を踏まえ策定したものです。

推進に当たっては、町民、町議会、関係団体及び民間事業者の連携・協力のもと、引き続き芝山町総合戦略推進会議において事業の進捗確認及び評価・検証を行い、新たな定住人口確保に向けて、効果的かつ重点的な施策に取り組んでいきます。

### 2. 国、県、近隣市町との連携

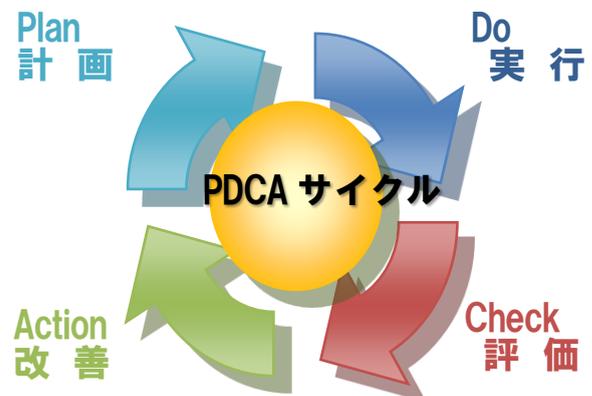
総合戦略における各事業の実施においては、国・県の行う支援制度や地域連携施策を積極的に活用することで、効果的な事業展開を目指します。

また、交通インフラや観光施策、人材育成など、広域での取組が必要な分野については、県や近隣市町とも連携し、効果的な事業の展開を図ります。

### 3. 効果検証のしくみ（PDCA サイクル）

第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進していくために、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（action）のPDCAマネジメントサイクルによる効果検証を行います。

各施策におけるKPI（重要業績評価指標）の進捗状況、目標年次における数値目標の達成状況について芝山町総合戦略推進会議において評価・検証を行います。こうした施策・事業の効果の検証によって、必要に応じて本戦略を改訂するというPDCAマネジメントサイクルを実施していきます。



---

---

芝山町人口ビジョン（改訂版）  
及び  
第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

2020年3月

編集・発行：芝山町 企画空港政策課 企画調整係

〒289-1692 千葉県山武郡芝山町小池992

TEL：0479-77-3926

---

---